

基本理念

目的（存在理由）

社会への貢献

わたしたちは
社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、
よって社会に貢献することを目的とします。

基本的価値観（不変の主義）

1 開拓の精神

わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、
未開の地（新しい分野）に挑戦することを誇りとします。

2 不断の努力

わたしたちは、弛みない努力によって、
困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。

3 誠実な意志

わたしたちは、わたしたちを支える人々※に対し、
揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

※「私たちを支える人々」とはステークホルダー
（お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など）を指します。

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに第39期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）
年次報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当社は、質の高い快適な空間の提供を通じて人々の心
や暮らしを豊かにすることを目的としています。また、ユニット
ハウスを通じて建築物の再利用を促進し、資源循環型社
会の形成に貢献することを社会における当社の存在理由
としています。

ユニットハウスは、必要などきに必要空間を必要なだけ
利用し、その場所で不要になったら別の場所に移設し、再利
用を行うという、今までの建築概念にない発想を可能として
います。これからの社会システムに必要とされるものを自ら作

り出し、そのオリジナル製品によって社会に貢献するという創業当時から受け継がれてきたフロンテアスピリッツ（開拓の精神）を原点に、原材料、原油価格の高騰という厳しい世界経済の変化を逆に好機ととらえ、成長をめざしてまいります。

当事業年度(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績について

当事業年度の建設市場は、建築物の安全性の確保を図ることを目的として平成19年6月20日に施行された改正建築基準法により建築確認の審査基準が厳格化されました。この影響により、7月以降、建築着工が大幅に減少しました。このような状況のもと、当社の主要顧客先である大手ゼネコンにおいても工事着工にブレーキがかかり、仮設ユニットハウスのレンタル出荷棟数は下半期には前年を下回る状況で推移いたしました。

一方、新たな需要先の開拓として注力しているユニットハウスの本建築物の販売につきましては、改正建築基準法の影響を受けたものの、営業力・製品力の強化を図ることにより、前年同期比並みの売上高をあげることができました。

また、当事業年度には平成19年3月25日に発生した能登半島地震、平成19年7月16日に発生した新潟中越沖地震により被災された方々向けの応急仮設住宅を提供いたしました。

これらの結果、当事業年度の売上高は、17,840百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

利益面におきましては、前事業年度にユニットハウスの展示販売を行うスペースナビの不採算店舗を閉鎖し収益性が改善されたことや、工場の生産ラインの改善、物流システムの効率化に努めたことにより営業利益は1,422百万円（同2.4%増）、経常利益は1,317百万円（同4.5%増）と、いずれも微増ながら前事業年度を上回ることができました。当期純利益につきましては、退職給付制度の見直しを行い、企業型確定拠出年金に移行した結果、適格退職年金制度終了益74百万円を特別利益に計上する一方で、役員退職慰労金の過去勤務費用120百万円、遊休資産（土地）の減損損失48百万円を特別損失に計上したことにより547百万円（同18.0%減）となりました。

建設市場全体の先行きは不透明感が増しておりますが、今後も主力事業である仮設ユニットハウスのレンタルシェア拡大に引き続き注力するとともに、新たな需要先の開拓として推し進めている事務所や店舗などの本建築物の受注に傾注してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成20年6月

代表取締役社長 長妻貴嗣